

LSVT®BIG のご紹介

当院では、LSVT®BIG（リーシルバーマン・ビッグ運動療法）と呼ばれているパーキンソン病に特化したリハビリテーションを実施しています。このリハビリの特徴は、動作のスピードよりも大きさを改善に焦点を当てていることです。本運動療法は、米国でパーキンソン病患者に対して実施され、歩行や上肢前方到達動作、日常生活動作の改善に大きな効果を上げてきました。このリハビリプログラムの実施に当たっては、担当する理学・作業療法士がその方法論や訓練方法について所定の研修を受けて認定されることが必要です。当院では 4 名の有資格者が中心となり、このリハビリプログラムを実施しています。

LSVT®BIG 実施に対する詳細は以下の通りとなります。

◇期間・頻度◇

1 回 1 時間のセッション（訓練）を週 4 回×4 週（計 16 回）

→4 回に満たない場合は、LSVT®BIG は終了させていただきます

◇手順◇

- ① 「ふるえ・ふらつき外来」もしくは「神経内科」の専門外来にて、医師の診断により「リハビリ処方箋」が発行されます。
- ② 手順①にて、LSVT®BIG の必要性があると診断された場合、主治医より、当プログラムを目的とした入院をご紹介します。
⇒LSVT®BIG 適応外、または LSVT®BIG を希望されない場合は、パーキンソン病の症状や障害の程度に応じた通常の外来リハビリテーション、及び入院リハビリテーションの介入となります。
- ③ 手順②にて、LSVT®BIG のプログラムを開始予定となった場合、詳しい入院のご案内、及びプログラムの介入について、主治医よりご説明させていただきます。

◇内容◇

- ・基本運動プログラム＝身体を大きく使うご自身の動作によるストレッチを中心としたもの
- ・課題動作＝日常生活動作を練習課題としたもの
- ・自主トレーニング指導

◆注意点◆

- ・安全管理には最大限の注意を払って実施いたしますが、転倒などをリスク回避のため、事前の診察や検査を行うことで、ご本人の障害の度合いに即したプログラムを作成いたします。
- ・大きな動作の獲得を目指すプログラムの性質上、筋肉痛、関節痛等の症状を伴うことがあります。
- ・一旦プログラムが始まっても、ご希望で LSVT®BIG を中断し、通常の運動療法を受けることも可能です。

パーキンソン病の短期集中リハビリプログラム LSVT®BIGのご案内

身体全体を大きく動かすことを意識し、繰り返し訓練することで
日常動作や歩行が大きく行えるようにしていきます。

こんなことが気になっておられないですか？

テーブルに近づく時や
狭い場所で足がすくむ

歩いていると
徐々に歩幅が狭くなる

椅子からなかなか
立ち上がれない

服のボタンを留める
のに時間がかかる



リハビリ対象

○パーキンソン病の患者様で、

訓練室までお一人で歩いて来られる方

訓練方法及び回数

[方法] LSVT®BIG認定セラピストとの1対1での運動療法

+ ご自身での自主訓練

[回数] 1週間に連続4回（1日1時間）× 4週間 = 全16回

※原則4週間の入院にて実施いたします。（週末は外泊可）

その他、気軽にお問い合わせください

※通常の保険診療が適用されます

